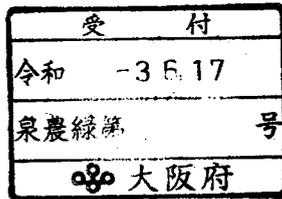


（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2021年6月17日

大阪府知事 様



提出者

住 所 大阪府阿倍野区旭町1丁目2番7号

あべのメディックス13階

氏 名 全星薬品工業株式会社

代表取締役社長 中出 登

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6630-7502

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	全星薬品工業株式会社 岸和田工場
事業場の所在地	大阪府岸和田市三田町380番地
計画期間	2021年4月1日 ~ 2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	32：医薬品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額： 891700万円
③ 従業員数	422人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 別紙の通り		特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和2年度)実績】		特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ①現状		特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ②計画										
①現状	特別管理産業廃棄物の排出量	①廃油(有害)	115,000 t	②引火性廃油	70,0862 t	③強アルカリ	0.0462 t	④廃酸(有害)	0.075 t	⑤強酸(有害)	0.0801 t	⑥感熱性廃棄物	0.7015 t			
	(これまでに実施した取組) ジクロロメタン洗浄方法の見直しによる廃液量削減															
②計画	【目標】	特別管理産業廃棄物の排出量	①廃油(有害)	110,000 t	②引火性廃油	65,000 t	③強アルカリ	3,000 t	④廃酸(有害)	0.070 t	⑤強酸(有害)	0.080 t	⑥感熱性廃棄物	0.700 t		
	(今後実施する予定の取組) 特になし															
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		廃液ごとに配置、タンクが独立している。														
①現状	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持															
②計画																

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

②計画

②計画

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

廃液ごとに配置、タンクが独立している。

(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現状維持

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
	特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	↑	↑	↑	↑

②計画	【目標】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	↑	↑	↑	↑	↑

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
	特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	↑	↑	↑	↑

②計画	【目標】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	↑	↑	↑	↑	↑

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
	特別管理産業廃棄物の種類 自ら中間処理を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	↑	↑	↑	↑

②計画	【目標】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
特別管理産業廃棄物の種類 自ら中間処理を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	↑	↑	↑	↑	↑

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
	特別管理産業廃棄物の種類 自ら中間処理を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	↑	↑	↑	↑

②計画	【目標】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
特別管理産業廃棄物の種類 自ら中間処理を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	↑	↑	↑	↑	↑

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
	特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	↑	↑	↑	↑

②計画	【目標】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	↑	↑	↑	↑	↑

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
	特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	↑	↑	↑	↑

②計画	【目標】	③強アルカリ	④腐蝕（有害）	⑤強酸（有害）	⑥感染性廃棄物
特別管理産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	↑	↑	↑	↑	↑

自ら行う特別管理産業廃棄物の処理処分に関する事項

自ら行う特別管理産業廃棄物の処理処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】				②計画	【前年度(令和2年度)実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	①廃油(有害)	②引火性廃油	③強アルカリ		④廃酸(有害)	⑤強酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦その他	
①現状	自ら処理処分を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	特別管理産業廃棄物の種類 自ら処理処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

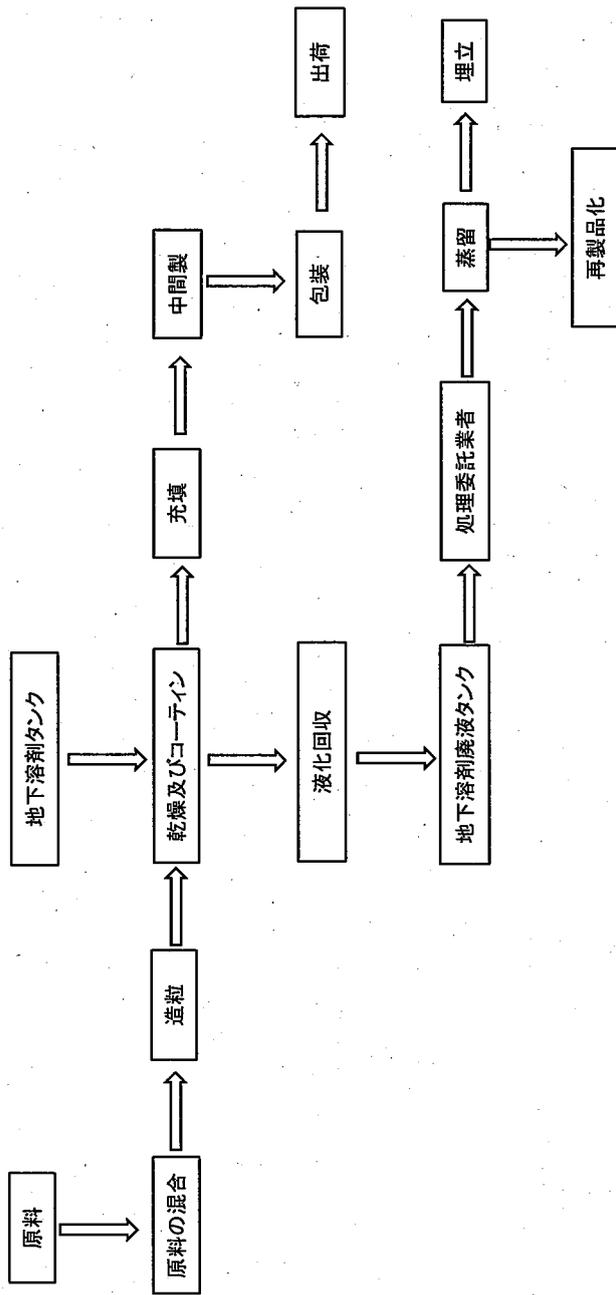
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和2年度)実績】				②計画	【前年度(令和2年度)実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	①廃油(有害)	②引火性廃油	③強アルカリ		④廃酸(有害)	⑤強酸(有害)	⑥感染性廃棄物	⑦その他	
①現状	全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定回収業者への処理委託量 認定回収業者以外 の無印電を行う業者 への処理委託量 (これまでに実施した取組)	115 t	70.086 t	0.046 t	0.075 t	0.08 t	0.072 t	t	t	t
②計画	全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定回収業者への処理委託量 認定回収業者以外 の無印電を行う業者 への処理委託量	104.66 t	0.026 t	0.046 t	0.075 t	0.08 t	0.072 t	t	t	t

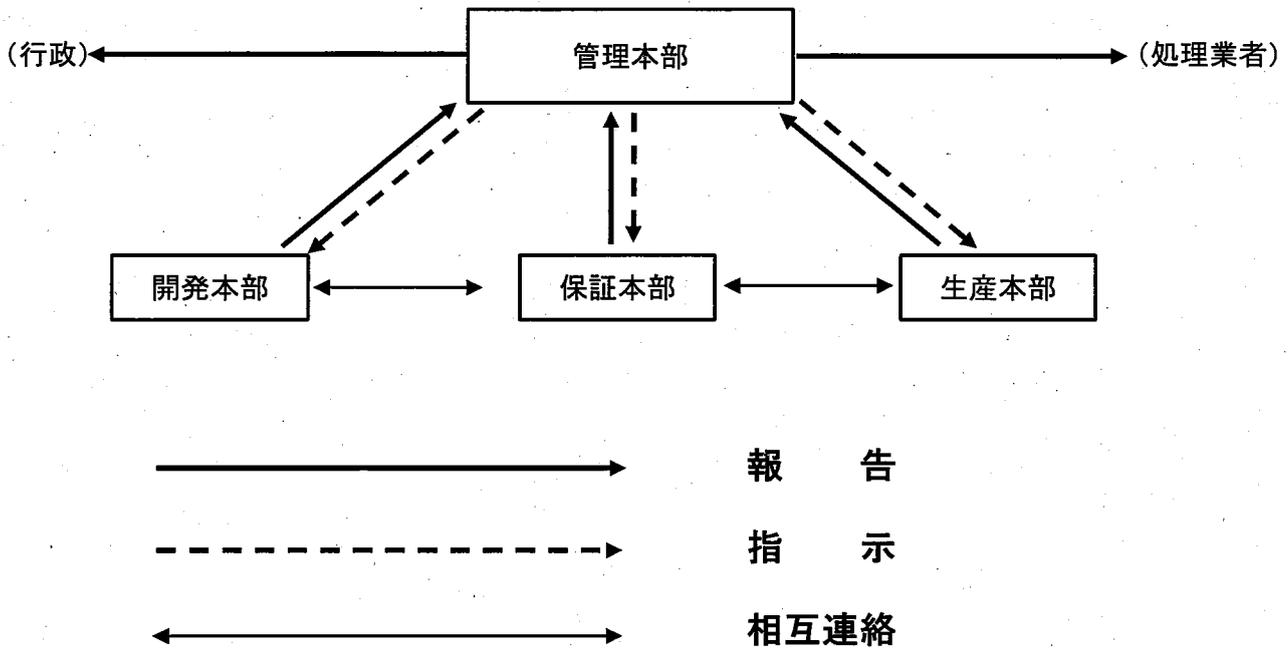
【目標】 処理物の種類	②計画			②計画		
	①廃油 (有害)	②引火性廃油	③独了ルカリ	④廃酸 (有害)	⑤強酸 (有害)	⑥感染性廃棄物
全処理委託量	110.000 t	65.000 t	3.000 t	0.070 t	0.080 t	0.700 t
優良認定処理業者への処理委託量	100.000 t	0.100 t	3.000 t	0.100 t	0.100 t	0.700 t
再生利用業者への処理委託量	10.000 t	65.000 t	3.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
②計画						
【今後実施する予定の取組】						
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度 (2020 年度) 実績】			【前年度 (2020 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物 出 出 排 (ポリ塩化ビフェニル 廃棄物を除く)	185.989 t				
【今後実施する予定の取組等】 事業者との電子マネーフエースト使用の契約が完了し、2019年4月より運用を開始した。今年度の特別管理産業廃棄物の排出については、全量電子マネーフエーストで対応することとして運用していく。						
※事務処理欄						

〔産業廃棄物発生工程フロー〕

カプセル剤の製造工程



添付資料 管理体制図及び各部署の役割  
 [管理体制図]



[各部署の役割]

部署	役割
A 管理本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理</li> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>処理施設の定期的査察</li> <li>行政に対する報告等</li> <li>処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理</li> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発</li> <li>各部署間の調整及び指示</li> <li>廃棄物の資源化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施</li> </ul>
B 生産本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>各現場の施設の維持管理点検等</li> <li>保管場所での保管量の把握、記録の作成等</li> <li>工程管理を充実させ、廃棄物の削減を行なう</li> <li>上記内容をAに報告</li> </ul>
C 開発本部 保証本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造工程の研究開発</li> <li>保管場所での保管量の把握、記録の作成等</li> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>製法、原料等の見直しを行い廃棄物の減量化を推進する</li> <li>上記内容をAに報告</li> </ul>